

# セキュリティすごろくガイドブック

## ○目次

### 【基本ルール】

はじめに	P. 3
ルール	P. 3
タイムアップについて	P. 3

### 【イベント】

プレミアムイベントについて	P. 4
ミニクイズについて	P. 4
ストップマスイベントについて	P. 4
◎情報モラルクイズ	P. 4
◎パスワードを奪われるな	P. 4, 5
◎偽情報に騙されるな	P. 5, 6

### 【マスについて】

### 【ブレイカーについて】

### 【クイズ解説】

ミニクイズ	P. 7, 8, 9
情報モラルクイズ	P. 9, 10

## ○用意するもの

- ・セキュリティすごろくキット
- ・サイコロ
- ・トランプ×2
- ・点数などをメモできる紙

# 基本ルール

このゲームはプレイヤー4人、ブレイカー(悪役)1人の5人用です。ブレイカーは開始前にジョーカー1枚とそれ以外が4枚の、計5枚のトランプを用意し、ジョーカーを引き当てた人がブレイカー役となります。ブレイカーは、最後にサイコロを振るようにします。

## ○ルール

- ・プレイヤーもブレイカーも情報モラルポイントの合計で勝敗を競います。ブレイカーのポイントがプレイヤー4人の合計ポイントより多い場合、ブレイカーの勝ちとします。
- ・ゲームはゴール制ではなくタイム制で、40分間の間でゲームします。
- ・タイムアップしたら、着順にポイントが加算されます。(詳細は下)
- ・自分のターンになったらサイコロを1回だけ振ります。
- ・ストップマスではそれ以上進めても絶対に止まってください。
- ・ブレイカーは1ターン遅れてスタートします。
- ・ブレイカーに抜かされた場合は、抜かされた瞬間から1ターンごとに1ポイントずつ奪われます。
- ・黒色のマスではブレイカーが全員に向けてブラックスキルを発動できます。

## ○タイムアップについて

タイムアップ時に全員に情報モラルポイントが加算されます。

1位→+20ポイント

2位→+15ポイント

3位→+10ポイント

4位→+5ポイント

5位→+3ポイント

(悪役が1位の場合はプレイヤー全員から10ポイントずつ奪う)

(同率の場合は、同じポイントを同率者に加算します。)

# イベント

## ○プレミアムイベントについて

プレミアムイベントマスに止まった場合はプレミアムイベントカードを一枚引きます。引いたカードは戻してください。

## ○ミニクイズについて

ミニクイズマスに止まった場合はミニクイズカードを一枚引き、クイズに答えてください。引いたカードは戻さないでください。

正解した場合は、なぜ正解なのか説明をして、ポイントGETです。

正解した場合は+3ポイント、不正解は-3ポイントです。

## ○ストップマスイベントについて

このイベントは計3つあります。

「パスワードを奪われるな」と「偽情報に騙されるな」は一度誰かが止まったらそれ以降は無効なマスとなります。

### 【情報モラルクイズ】

情報モラルクイズカードを一枚引きます。引いたカードは戻さないでください。

三択のクイズになっているので、全員がクイズに答えてください。

正解した場合も不正解の場合も感想を言ってもらいます。

正解した人は+6ポイント、不正解の人は-6ポイントになります。

### 【パスワードを奪われるな】

このゲームは一度だけ行います。ブレイカーを選ぶ時のように、ジョーカーを一枚混ぜた4枚のトランプを用意します(ブレイカーは当てる側になります)。ジョーカーを引いた人がパスワードを当てられる役(以後主役)となります。

## ・ルール

主役が1～10(10は0の代わり)までの4組のトランプの中から4枚引き、それをパスワードとします(数字が重複してもよい)。数字は見せずに自分だけ分かるように並べます。

準備が終わったら主役以外の人が4桁のパスワードを一回ずつ予想して言います。当てられたところは素直にめくりましょう。

全員が一回言い終わるまでに2か所当てられたら主役の負けで主役以外に1ポイントずつ主役のポイントから配ります(計4ポイント)。全員が言い終わる前に2か所当てられても全員が言うまでゲームはします。

主役が当てられずに終わった場合には主役に4ポイント入ります。

また、主役の情報モラルポイントにより、ヒントの数が決まります。

- ・主役のポイントが悪役よりも20ポイント以上低い  
→1か所だけ3つの数に絞られる(例：一番左は6～8のどれか)
- ・主役のポイントが悪役よりも10ポイント以上20ポイント未満低い  
→1か所だけ4以下か5以上か分かる(例：一番左は5以上)
- ・主役のポイントが悪役よりも高い。または、10ポイント未満低い  
→ノーヒント

## 【偽情報に騙されるな】

このゲームは一度だけ行います。「パスワードを奪われるな」と同じようにジョーカーを一枚混ぜた4枚のトランプを用意します(ブレイカー騙す側になります。)ジョーカーを引いた人が正直者になり、それ以外は騙す人になります。(自分が何を引いたかは誰にも知らせないでください。)

## ・ルール

インディアンポーカーのようなゲームです。

全員、ジョーカー抜きトランプ(52枚)の中から一枚ずつ引き、自分に見えないように頭の上で持ちます。数字の大きい人が勝ちとなるゲームです。

3分間数字について話し合います。この時、正直者は真実しか言えません。他の人は、嘘も真実も言ってもいいです。どちらも「○○さんより○○大きい」のように、具体的な数は言うてはいけません。

3分間の話し合いの後に勝負から降りるか降りないかを決断します。

ポイント配分は次のようになります。

- ・勝負に出て勝った人  
→+15 ポイント
- ・勝負に出て負けた人  
→-10 ポイント
- ・勝負から降りたが、勝負に出た人の最大数よりも大きかった人  
→-15 ポイント
- ・勝負から降りたが、勝負に出た人の最小数よりも小さかった人  
→+15 ポイント

## マスについて

### ○スキルカードゲット

1~8 までの八枚のトランプの中から一枚引き、引いたトランプの数と同じ数が書いてあるスキルがゲットできます(スキルカード表参照)。スキルカードは後のマスで被害を軽減することができます(L v1 の場合は、1/2 の確率 (1,3,5) でトラブルを防ぎます)。

### ○ブラックスキル

ブレイカー用のマスです。ブレイカーがスキルを使用できます。プレイヤーが止まった場合はブレイカーへ1ポイント渡します。

### ○YES,NO クイズ

YES,NO クイズをします。

### ○スキルカードレベルアップ

スキルカードのレベルが上がります。初期値は1で最大が2です。

最大値までもう上がっている人は、レベルアップの代わりに10ポイントもらえます。

### ○プレミアムイベント

プレミアムイベントカードを引きます。

#### ○分かれ道

ストップマスです。サイコロを振って出た目によって進路が変わります。

#### ○情報モラル意識の低下

情報モラルに対する意識の低下によりスキルがなくなります。

右隣の人にカードを渡しましょう。右隣の人がブレイカーの場合は、ブレイカーを飛ばして渡しましょう。

#### ○スキルカードレベルダウン

スキルカードのレベルが下がります。レベル2の人はレベル1に、レベル1のひとはカードを破棄します。

#### ○スキルカードで防げるマス

スキルカードを使うことで、情報モラルポイントが減るのを防げるマスがあります。この時、プレイヤーがスキルによって防げた場合はマスに表示されているポイントをブレイカーから奪うことができます。防げなかった場合はマスにマスに表示されているポイントをブレイカーに渡します。

## ブレイカーについて

#### ○スタート

ジョーカーを引いた人がブレイカーです。ブレイカーは、スタートで1ターン遅れて動きます。また、ブレイカーの順番は最後とします。

#### ○ブラックスキルについて

ブレイカーは最初に4つのスキルカードを配られます。このカードは一回しか使えません。このカードは、ブラックスキルマスのみ使えます。

このカードに書いてあるポイントをブレイカーはもらうことができます

ブラックスキルを全て使ってしまった場合に、もう一度ブラックスキルマスに着いた時はスキルが復活し、次のブラックスキルマスで使えます。

#### ○ミニクイズマスの場合

ミニクイズマスに止まった場合は、プレイヤーと同じく解答をいい、説明をしてポイントをもらいます。

### ○+ーマスについて

+ーマスとは、つまり普通のマスのことです。ブレイカーは、プレイヤーが-ポイントになるマスは+ポイントになります。また、プレイヤーが+ポイントの時は-ポイントになります。

### ○プレミアムイベントカード

プレミアムイベントカードを引くときも、プレイヤーが+ポイントになる場合のカードは-に、+になる場合は-になります。

### ○ストップマスについて

ブレイカーもストップマスの時はプレイヤーと同じプレイをします。

### ○情報モラル意識低下のマスについて

ブレイカーは、4枚あるスキルカードのうち1枚を捨てることとします。使っているスキルカードは無効です。

## クイズ解説

### 【ミニクイズ】

Q. この写真を SNS に流していいか

A. NO

《解説》

この写真には学校名や写っている人の顔や名前が分かってしまうため、不特定多数の人が見ることのできる SNS に投稿するのは、個人情報の流出や、個人の特定につながるため不適切です。

Q. パスワードをメモ帳に書いておいていいか

A. NO

《解説》

メモ帳に書いておくと誰かに見られる可能性があり、パスワードを知られてしまう危険性がありますので、メモ帳に書き留めておいてはいけません。

Q. 時間を考えて通信するべきか

A. YES

《解説》

夜遅くに通話やチャットをするのは夜更かしにもなりますし、相手が快く思っていないければ交友関係の悪化にもつながります。気を付けましょう。

- Q. アプリを入れるとき詳細を見るべきか** **A. YES**  
《解説》  
レビューや求められる権限を見ると有害アプリかどうか分かることがあります。例えば、画像編集アプリがあったとして、ダウンロード数が少なく、評価も最低でさらに求められる権限に電話帳のデータが入っていたら明らかに有害なアプリです。
- Q. インターネット上にある情報は全て正しいか** **A. NO**  
《解説》  
インターネットは大人から子どもまで誰でも書き込むことができます。専門家以外にも書き込めてしまうので根拠のない情報も中には存在しています。
- Q. 見覚えのないメールは返信して知らせるべきか** **A. NO**  
《解説》  
このようなメールの大体は無差別に送っているものです。返信をしてしまうとこのメールアドレスは現在も使われているのだと知られてしまい、さらに悪化する可能性があります。知らないメールが届いたら返信せず受信拒否をしましょう。
- Q. 歩きスマホはしてはいけないか** **A. YES**  
《解説》  
歩きスマホをするとスマホばかりに注目してしまい、視野が狭くなります。そのため、人とぶつかってしまったり、道路に飛び出してしまうと、非常に危険な状態になります。
- Q. 知らない人に卒業校を教えるでもいいか** **A. NO**  
《解説》  
卒業校も個人情報の一つです。絶対に知らない人に教えるべきではありません。そこから個人を特定されてしまうかもしれません。
- Q. 課金をするときは金額を考えるべきか** **A. YES**  
《解説》  
金額は考えるべきです。課金に使うお金は一体誰が稼いだのでしょうか。あなたの家族の方が汗水流して稼いだお金です。課金をするときはよく相談して、金額の限度を決めて課金しましょう。
- Q. ネットのショッピングサイトは全部公式か** **A. NO**  
《解説》



非公式のショッピングサイトも存在します。非公式ですと偽物をつかまされてしまうことがあるので信頼できる公式サイトでネットショッピングをしましょう。

**Q. ウイルスソフトを入れておけば感染することはない** **A. NO**

《解説》

ウイルスソフトをインストールするだけでは効果がありません。しっかりウイルスに対する対策の設定をしましょう。

**Q. ネットでの知り合いには会わない方がよい** **A. YES**

《解説》

ネットでのやりとりでは、相手の顔を直に見ることが出来ません。さらに、顔写真があったとしても本物かどうかは分からず、もしかしたら悪い人がなりすましている可能性もあります。ですから、ネットで知り合いになった人とは会わない方がいいでしょう。

**Q. ネットに繋がなければウイルスに感染することはない** **A. NO**

《解説》

ネットに繋がなかったとしても USB メモリから感染するケースもあります。ネットに繋がらないからといった油断はしないようにしましょう。

## 【情報モラルクイズ】

**Q. 中高生のスマホ使用にかかる平均の月額はいくらか** **A. 4500 円**

《解説》

省略

**Q. 有害なサイトをブロックできるものはどれか** **A. フィルタリング**

《解説》

フィルタリングとは、青少年保護のために、インターネット上にある性的あるいは反社会的な情報を含んだサービスやサイトを一定の基準に基づいて選別し、青少年の利用する携帯電話やスマートフォン、WEB ブラウザから閲覧できないようにするシステムのことで

**Q. サイトにアップするとき勝手に出していないのはなにか**  
**A. 友達と自分の写真**

《解説》

顔写真は個人情報の流出、個人の特定につながります。しかも、この場合は友達の許可もなしに友達の写真を流そうとしています。必ず許可を取りましょう。

**Q. ネット上でどういう場合が犯罪にならないか** **A. フリー画像の公開**

《解説》

フリー画像は利用規定を守っていれば使用しても犯罪になりません。

**Q. メールやチャットをするときに心がけることは何か** **A. 言葉を丁寧にする**

《解説》

強い口調や誤解を招きかねない言い方をするとトラブルになる危険性があります。なるべく丁寧な口調で話しましょう。

**Q. 中高生は平均何時間スマホを使っているか** **A. 3 時間**

《解説》

3時間ということでしたが、あまり使いすぎないようにしましょう。

**Q. ネット依存の中高生は全国に約何万人いるか** **A. 50 万人**

《解説》

すごく多い数ですね。中には病院で治療しなければならないものもあるのでやりすぎには気を付けましょう。

**Q. どういうときにマナーモードにするべきか** **A. 電車の中**

《解説》

電車の中には沢山の人が乗っています。ほかの人の迷惑にならないようにマナーモードにして、通話も控えましょう。